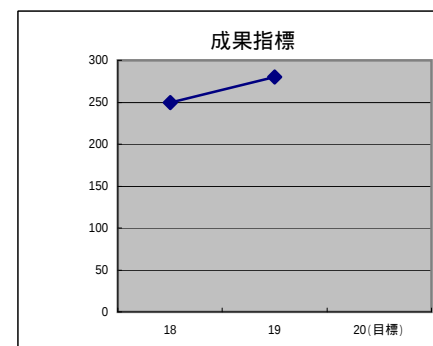
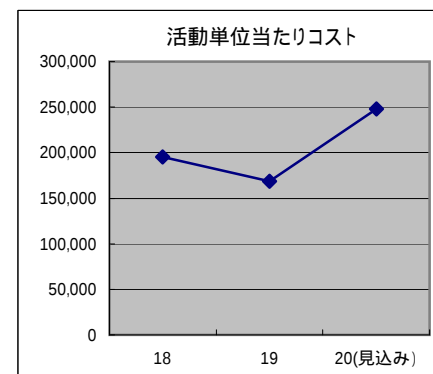


事務事業名		道路維持補修事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路舗装改良事業費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	1	道路維持補修	
	施策(節)	9	道路交通		作成部署	土木部道路課		
	施策の方向	(2)	計画的な道路整備と維持管理の推進		連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2230		
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	市認定道路及び里道							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	生活基盤である道路の安全性の確保を図る。							
	道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に対し、修繕・応急工事を実施する。							
	道路修繕工事：道路舗装・安全柵・側溝・集水枡等の小規模な破損の修繕 維持補修工事：道路環境整備工事(路面掃除) 年4回 L = 2.9 km / 回 応急工事：道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に伴う危険箇所の早急な補修							
根拠法令等		道路法・道路維持修繕要綱・アスファルト舗装要綱・各種設置基準						
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 34 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度						
事業開始時からの状況変化		高度経済成長期に築造された道路及び道路付属施設の老朽化が進んでいる。						
市民や議会の要望		道路舗装や道路側溝等の改修要望が増えている。						
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託		委託内容				



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	処置件数(件)	(式)	通報、要望により処置を行っている。	目標		達成率(%)	
				実績	250	280	
	(式)	(式)		目標		達成率(%)	
				実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民生活の基盤である道路の維持補修は、市民が安全・安心・快適な生活を送るために、必要な事業である。
○	○		○								

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☒	☐	☐
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☐	☒	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☒	☐	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☐	☐	☒
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☒	☐	☐
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☒	☐	☐
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☐	☐	☐
達成度	成果指標の目標値は適正である			☐	☐	☒
	成果指標の実績値は目標値以上である			☐	☐	☒
	成果指標は前年度より向上している			☐	☐	☒